

武漢事務所週刊ニュース(2012年6月2日~8日)

アメリカ駐中国大使が発表

遅くとも2014年までに武漢にてアメリカへのビザ申請が可能に

6月6日長江日報

昨日の午後、「2年後、アメリカへのビザ申請は武漢で済ますことができる」とアメリカ駐中国大使館駱家輝大使がオンラインビデオ会議システムを通して発表した。2014年夏までにアメリカ駐武漢総領事館でビザ申請業務を行えるようになる。

アメリカはすでに武漢総領事館の新しい住所を選定

アメリカは現在上海、広州、成都、瀋陽、武漢の5つの地に領事館を設けている。アメリカ駐武漢総領事館は2008年11月に開館して以来、湖北省、湖南省、江西省、河南省の4つのエリアを管理し、5つの領事館のうち唯一ビザの申請業務を行っていない領事館である。

駱大使の話によると、中部地域の中国住民により早く便利なビザ申請サービスを提供するため、駐武漢総領事館の業務範囲を拡大する。2014年の夏までに実施する予定である。

現在の駐武漢総領事館の所在地である新世界国際貿易ビルではビザ申請などの業務を展開するためのスペースがないため、アメリカはすでに領事館の新しい場所を選定した。

ビザ申請業務が開始すれば、毎年20万件の申請を処理することができる。瀋陽、成都にある領事館の年間処理能力は9~10万件となっている。将来、武漢総領事館が処理できるビザタイプは他の4つの領事館と同じようになる。

武漢1~5月工業投資額の増幅は19都市の首位

6月7日長江日報

6月6日、投資額70億元(約910億円)の上海GM武漢工場は正式に始動した。わずか160日で落成した完成車工場は、武漢市工業プロジェクトの落成までの最速記録を更新した。最新の統計データによると、今年1~5月の武漢の工業分野における投資額の増幅は全国19の副省級都市で、第1位となり、製造業の中心となるための確実な一歩を踏み出した。

上海GM会社が沿岸部の都市から内陸部へ進出する第一歩は、武漢では高率的に工場を建設ということを各界に深く印象づけた。共産党湖北省委員会、湖北省政府及び政府の各関連部署は上海GMが武漢への本格進出を実現するために全面的にサポートした。

武漢市と湖北省の連携により、今年の武漢の製造業は著しく発展し、1~5月の工業分野における大手企業の完成品増加額は1028.1億元(約1兆3365億円)、16%増となり、15の副省級都市で成都に次いで、第2位となった。

数日前、周大福ジュエリーショップが50億元(約650億円)を投資し、武漢に加工工場を建設した。一ヶ月前に、レノボグループは50億元(約650億円)を投資し、武漢で次世代の携帯端末などを生産し、5年以内に生産額が500億元(約6500億円)に達する見込みであり、1万件近くの雇用機会を創出する。

武漢の工業分野の投資額は大幅に増加している。データによると、1~5月の武漢市の累計投資額は同60.6%増の538億元(約6994億円)に達し、全国19の副省級都市で連続して1位をキープしている。